

自律的な語彙学習を促す語彙テストのフィードバック

松下達彦* (Victoria University of Wellington 大学院生)

1. はじめに

テストのフィードバックの重要性は、学習者の自律とテストの妥当性の両面から説明される。学習者の自律を促すには、計画、実行、評価、改善のサイクルを作ることが重要であるが、評価から改善へのステップを作るには、学習者自身が既習能力と目標のギャップを測り、具体的な学習方法やステップを考えねばならない。それにはテストのフィードバックが役立つはずである。テスト研究においてもテストが学習者にもたらす影響(washback)自体をテストの妥当性に含める考え方が有力になっている(例えば Messick 1996)。特に、語彙学習は、1)ニーズが多様、2)負担が膨大で教室での教授・学習に時間が割けない、3)学習者主導の学習に向いている、といった理由で学習者に任せやすい。以上を踏まえ、以下、発表者が研究・教育用に開発した語彙テストのフィードバック内容が、テスト参加者にどのように受け止められたか、どのように学習者の自律を促すかについて述べる。

2. 調査内容

語彙テストは BCCWJ に基づいて開発した「日本語を読むための語彙データベース」(VDRJ) (松下 2010)から 100 語につき 1 語の割合でサンプリングした 150 問からなるテストで、15000 語レベルまでの語彙知識を測定し、受験者の語彙量を推定することができる。サンプリングは 1000 語ごとに語種(和語・漢語・外来語・混種語)と品詞の割合を統制した層化サンプリングである。テスト形式は四肢選択で、語義が推測できないような短文に埋め込まれた目標語の意味記述を選ぶものである。すなわち、読む際に最低限必要な知識である語の基本義が文字表記を見てわかるかどうかだけを試すものであり、産出に必要な文脈的な意味や統語機能については問わないものである。語彙テストと合わせて SPOT (Simple Performance Oriented Test (小林・丹羽・山元 1994 など)、読解テストを実施した。テストはパイロット研究として 2010 年 5 月から 10 月にかけて、日本、オーストラリア、ニュージーランドの 4 大学の日本語プログラムで実施された。採点後に送付したフィードバックでは、推定語彙数、レベル・語種ごとの得点率のほか、語彙テストの結果から推定される SPOT や読解の得点範囲、テスト結果から学習すべき語彙レベルをどう判定するか、語彙表サイトへのアクセス方法、語の学習に有利な方法や不利な方法、習熟度別の学習法などを提示した(資料 1, 資料 2)。同時にフィードバックに関するアンケートを web 上で実施した。送付数は 231 で、有効回答数は 32 (回答率 13.9%)、回答者の母語は英語 18 人、中国語 12 人、その他 2 人で、回答者の推定語彙量は初級 (0-3000

表 1 回答者の推定語彙量

推定語彙量 (語数)	人数	%
0-3000	9	28.1
3100-6000	10	31.3
6100-9000	6	18.8
9100-12000	3	9.4
12100-15000+	4	12.5

語), 中級 (3001-6000 語), 上級 (6001 語以上) が約 3 分の 1 ずつである (表 1)。

3. 結果と考察

調査の結果, テスト結果の表は概ねわかりやすく, 今後の学習方法を具体的に考える上で役立つと評価された (表 2)。

また, 56% が推定語彙数を期待より多いと回答した (表 3)。

具体的に有用とされた内容は多岐に渡るが, 理解語彙と使用語彙の違い, 学習目標語の選び方などが比較的多かった (表 4)。今後, どのような語彙学習をしたいかを尋

ねたところ, 語彙リストをチェックリストとして活用したい, 語と語を関連づけて覚えたい, 学習語彙数の数値目標を設定したい, 自分の必要な領域にまず集中したいな

ど多様な回答があったが, 概ね日本語の語彙やその学習に関するメタ知識から新しい学習方法に気づききっかけを得ていた。今後は, さらに見やすくわかりやすくしたい。

テストのフィードバックを受験者自身が解釈しやすくすることは, それ自体がテスト開発の目的にもなり, また教育と研究の乖離を避け, 研究倫理の点でも重要であり, 研究用テストを実施する場を開拓する点でも有利である。

なお, 作成した語彙テストのフィードバックおよび関連資料は, 以下のサイトからダウンロードできる。URL: www.wa.commufa.jp/~tatsum/

* Email: tatsuma2010@yahoo.co.jp

引用文献

- Beglar, D., & Hunt, A. (2005). Six principles for teaching foreign language vocabulary: A commentary on Laufer, Meara and Nation's 「Ten Best Ideas」. *The Language Teacher*, 29(7), 7-10.
- Laufer, B., Meara, P., & Nation, P. (2005). Ten best ideas for teaching vocabulary. *The Language Teacher*, 29(7), 3-6.
- Messick, S. (1996). Validity and washback in language testing. *Language Testing*, 13(3), 241 -256. doi:10.1177/026553229601300302
- 小林典子, 丹羽順子, & 山元啓史. (1994). 日本語能力簡易試験としての「聞きテスト」. *筑波大学留学生センター日本語教育論集*, 9, 149-158.
- 松下達彦. (2011). *日本語を読むための語彙データベース (総合版) Ver. 1.0. (Vocabulary Database for Reading Japanese)=(日本語を読むためのTM 語彙リスト Ver. 4.0).* <http://www.wa.commufa.jp/~tatsum/index.html>

表2 「日本語を読むための語彙テスト」のフィードバックの理解度, 有用度

番号	質問	平均 (6点法) *	標準偏差 *	否定的回答の数(N=32)
Q1	テスト結果の表の内容はわかる。	4.94	0.79	1
Q3	語のレベル別 (例: 1K-15K) のテスト結果の表は役に立つ。	4.75	0.83	3
Q4	漢語、外来語、和語に分けた結果の表は役に立つ。	4.56	1.09	4
Q5	「日本語テストの結果の解釈」(「テスト結果について」のファイルの2ページ目)の内容はわかる。	5.16	0.57	0
Q8	「テスト結果」「学習のコツ、注意」を見て、これからどんな語をどのように学習するかについて、具体的なアイデアを得た。	4.74	0.72	2

* 得点は「とてもそう思う」、「そう思う」、「少しそう思う」、「少しそう思わない」、「そう思わない」、「まったくそう思わない」を6点から1点の6点法で評価した結果である。

表3 Q2 あなたの語彙量は、予想と比べて

回答	回答数	%
とても多い	2	6.3
多い	16	50.0
だいたい同じ	9	28.1
少し少ない	4	12.5
とても少ない	1	3.1

表4 Q6-1 「語彙学習・漢字学習のコツ、一般的な注意点」(「語彙学習のコツ、注意」のファイルの1ページ目)の中で役に立つと思う内容はどれですか。(三つまで)

回答	回答数	%
どんな語を学習するか	19	59.4
語の学習量	12	37.5
理解語彙と使用語彙	20	62.5
「語の形・意味の学習」のウェブサイトの紹介	14	43.8
「語の形・意味の学習」のほかの項目	13	40.6
「漢字の形・意味の学習」のウェブサイトの紹介	10	31.3
「漢字の形・意味の学習」のほかの項目	11	34.4

資料1, 資料2はいずれもテスト結果とともに送付されたものである。テスト結果そのものは資料1の上半分から説明のキャプションを除き、実際の得点が記入されたものである。いずれの資料にも英語版, 中国語版が用意され, 理解されやすいと思われるものが送付された。なお, 資料1の「日本語テスト結果の解釈」の中の表中の数字はサンプルであり, 最終的な処理データではない。

資料1 「テスト結果の表の見方」と「日本語テスト結果の解釈」

松下達彦 (Tatsuhiko Matsushita) Victoria University of Wellington 大学院 言語学・応用言語学科 博士課程

テスト結果の表の見方

語彙テストの結果です

テストID	テストを受けた日	日本語読解のための語彙量テスト Vocabulary Size Test for Reading Japanese 日语阅读词汇量测试															SPOT (聴解) (听力)		日本語読解力テスト 日语阅读能力测试							
		部門別問題数 各部分出題量 Number of Test Items in Each Section															65	24	読解の語彙レベル Vocabulary Level of Reading Text (阅读题的词汇水平)							
999	12/06/2010	推定語彙量 Estimated Vocabulary Size	合計 Total	1K	2K	3K	4K	5K	6K	7K	8K	9K	10K	11K	12K	13K	14K	15K	得点 Score	%	得点 Score	%	1-2K	1-6K	1-10K	1-15K
		4200	42	28%	10	7	6	6	4	1	3	3	2	0	0	0	0	0	0	48	74%	13	54%	6	3	2

問題数です

読んで理解できる日本語単語数の推定です。

Kは1000語をあらわします

1000語につき10問あります

例えば5Kは重要度の順番が4001番目から5000番目までの語をあらわします

この語彙テストでは16000語までのレベルを測定できます

SPOT (聴解) テストの結果です。

読解の問題の語彙のレベルです

それぞれ6問中いくつできたかをあらわします

日本語読解のための語彙量テスト Vocabulary Size Test for Reading Japanese 日语阅读词汇量测试																							
7B	17	51	4	10	10	12	16	15	15	9	8	6	9	10	9	32	46	5	12	23	28	4	
漢	英	和	混	漢語				和語				漢語	外来語	和語	混種語								
C	E	J	M	Chinese-origin 漢源詞				Japanese-origin 和詞				Chinese-origin 漢源詞	English-origin 外来語	Japanese-origin 和詞	Mixed origin 混種語								
%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
1-15K	1-15K	1-15K	1-15K	1-2K	3-4K	5-6K	7-9K	10-12K	13-15K	1-2K	3-4K	5-6K	7-9K	10-15K	10-15K	1-6K	7-15K	1-6K	7-15K	1-6K	7-15K	1-15K	
24	29	35	0	80	40	33	19	0	0	89	75	17	33	0	0	51	6	60	17	60	11	0	
「漢」(C): 漢語(中国語から入ってきた語)																							
「外」(E): 外来語(主に英語から入ってきた語)																							
「和」(J): 和語(もともと日本語にある語)																							
「混」(M): 混種語(複数の言語の要素が混ざってきた語)																							
正しい答えの割合(%)です																							

松下達彦 (Tatsuhiko Matsushita) Victoria University of Wellington 大学院 言語学・応用言語学科 博士課程

日本語テストの結果の解釈

- この語彙力テストは、読むための語彙力(書かれた日本語の語彙がどのくらい理解できるか)のテストです。聞いたり話したり書いたりするための語彙力とは違うかもしれません。
- 推定理解語彙量は得点の100倍です。11K-15Kで半分以上の人や、時間が足りなくて全部終わらなかった人は、得点の100倍より多くの語彙を理解できる可能性が高いです。

これまでテストを受けた人の点数を統計処理した結果、語彙力テストと SPOT (聴解テスト)、読解力テストの間には、それぞれ右の表のような関係があります。あなたの SPOT/読解力テストの得点が「標準的な SPOT/読解力テストの得点範囲」よりも高ければ(低ければ)、あなたは語彙力に比べて SPOT や読解の点数が高い(低い)、と言えます。

下の表は語の種類による正答率をパーセントで表示しています。普通は、中国語ができる人は、漢語の正答率が和語や外来語に比べて高く、英語ができる人は外来語の正答率が高いです。

どのレベルの単語を勉強したらいいか:

- 推定語彙量は、おおよそ 0-3000 が初級(日本語能力試験 N5-N4 レベル)、2000-8000 が中級(日本語能力試験 N3-N2 レベル)、7000-15000+ が上級(日本語能力試験 N1 レベル)です。
- 「Yahoo 知恵袋」のようなインターネットの Q&A サイトは、最重要

語彙力テストの得点 (150点満点)	予想される SPOT (聴解) の得点 (65点満点)	標準的な SPOT の得点範囲	語彙力テストの得点 (150点満点)	予想される読解力テストの得点 (24点満点)	標準的な読解力テストの得点範囲
150	65+	61-65	150	20.2	18-22
140	62.7	58-65	140	19.0	17-21
130	59.8	55-64	130	17.9	16-20
120	56.9	52-62	120	16.7	15-19
110	54.0	49-59	110	15.5	14-17
100	51.1	46-56	100	14.3	12-16
90	48.2	43-53	90	13.1	11-15
80	45.2	41-50	80	11.9	10-14
70	42.3	38-47	70	10.7	9-13
60	39.4	35-44	60	9.5	8-11
50	36.5	32-41	50	8.4	6-10
40	33.6	29-38	40	7.2	5-9
30	30.7	26-35	30	6.0	4-8
20	27.8	23-33	20	4.8	3-7
10	24.9	20-30	10	3.6	2-6

6000語 (1K-6K) で95%以上の単語がカバーされており、その6000語でおおよそその内容が理解できます。普通の書籍の内容が同程度に理解できるようになるには10000語 (1K-10K) 程度必要です。

- 1Kから15Kを左から順に見て、1Kと2Kが10点でない人は、まず初級の語彙約2000語をしっかりと学習することをお勧めします。2000語で読めるものはあまりありませんが、初級2000語の中には日常生活でくりかえし使われる語彙が多く含まれています。
- 1Kと2Kが10点の人は3K以上で9点や8点以下だったレベルから勉強することをお勧めします。
- 各レベルに含まれる単語は、以下のサイトから語彙リストをダウンロードして見てください。

http://www.wa.commufa.jp/~tatsum/English%20top_Tatsu.html

資料2に記したアイデアのいくつかは Laufer, Meara, & Nation (2005)および Beglar & Hunt (2005)に基づいている。また、フラッシュカードのサイトは中田達也氏に、漢字学習サイトは濱川祐紀代氏に教えていただいたものの中から自分で使ってみて選んだ。内容の全般につき、Paul Nation 氏に意見を仰いでいる。当然のことながら、内容については筆者が責任を負うものである。

資料2 「語彙学習・漢字学習のコツ、一般的な注意点」

松下達彦 (Tatsuhiko Matsushita) Victoria University of Wellington 大学院 言語学・応用言語学科 博士課程

語彙学習・漢字学習のコツ、一般的な注意点

(どんな語を学習するか)

・よく使われる語を中心に勉強して、ときどきしか使わないような単語は後回しにしましょう。自分の生活や勉強・仕事・趣味に必要な語を勉強しましょう。

(語の学習量)

・一日や一週間にどのくらいの語を覚えられるか、数えてみてください。どれだけの期間にどれだけの語を覚えるか、目標を立てるといいです。

(理解語彙と使用語彙)

・理解できればいい語彙と、使えたほうがいい語彙を分けて勉強しましょう。使えるほうがいい語彙は、自分に合う例文を作りながら勉強しましょう。

(語の形・意味の学習)

・具体的な例文や語の組みあわせで語を覚えるほうがいいです。

・覚えた単語を忘れないうちに繰り返し学習するほうがいいです。短い期間に繰り返し語を見ると、記憶を強化することができます。

・似た形や似た意味の語・字は、初めはいっしょに勉強しないほうがいいです。一つの語の使い方がよくわかるようになってから似ている語の勉強をしましょう。

・ウェブサイトやパソコン・ソフトをうまく使いましょう。自分の好きなフラッシュカードを作れます。ほかの人が作ったカードもあります。

J-Talk: <http://www.j-talk.com/eiwa/index/>

Smart.fm: <http://smart.fm/goals/search?autodetected=japanese&keyword=&language=ja>

Quizlet: <http://quizlet.com/>

WordChamp: <http://www.wordchamp.com/lingua2/Browse.do>

*手と紙でフラッシュカードを作るのもいい方法です。

<http://www.rikai.com/perl/Home.pl> 日本語のウェブサイトを必要に応じて単語の翻訳を見ながら読むことができます。

(漢字の形・意味の学習)

・いろいろな語に現れる漢字に注意して勉強しましょう。漢字2文字の組み合わせでどんな語ができるか、考えながら勉強しましょう。

・漢字の部分の形と意味を学習しましょう。漢字の形を部分に分ける練習をして、部分の組み合わせかたを覚えましょう。少しの部分で多くの漢字ができます。

・ウェブサイトやパソコン・ソフトをうまく使いましょう。

<http://www.asahi-net.or.jp/~ik2r-mvr/kanji/kanji1pa.htm> 漢字をフラッシュカードで勉強できます

<http://marinebat.com/gahoh/index.php> Stroke Order Movies で漢字の書き方がわかります

<http://www.hiragana.jp/> web page にふりがなをつけるサイトです

松下達彦 (Tatsuhiko Matsushita) Victoria University of Wellington 大学院 言語学・応用言語学科 博士課程

レベルに応じた語彙学習の方法

1) 初級 (1K-3K) の語彙 http://www.wa.commufa.jp/~tatsum/English%20top_Tatsu.html

・日常生活で使われる基本的な語が多いです。一つの語が二つ以上の使い方を持っていることも多いのですが、一つずつ覚えましょう。

・このレベルの語彙は会話や作文に欠かせない語彙です。理解できるだけでなく、使えるように学習しましょう。

・語を目で見て、できるだけ早く発音できるように練習するといいです。また、語を耳で聞いて、字が思い浮かぶように練習するほうがいいです。

・初級の単語を勉強できます <http://www.ajalt.org/sfvj/index.html>

2) 中級 (3K-8K) の語彙 http://www.wa.commufa.jp/~tatsum/English%20top_Tatsu.html

・ときどきしか出てこない語が多くなりますから、短い期間に繰り返し同じ語が出てくるように、自分の必要な分野や興味のある分野に集中したほうがいいです。

・意識的な語彙学習を続けたほうがいいです。使いながら覚えるだけだと、ときどきしか出てこないで、忘れてしまうことが多くなります。

・何かを読むことは語彙を増やすいい方法です。知らない単語が少ないものを探して、楽しんで読みましょう。

・知らない単語を聞いたり見たりしたら、その単語の意味を質問したり辞書で確認したりしましょう。

・単語カードに形や意味を書くことも進歩を確認しながら学ぶのにいい方法です。

・字幕付きの映画や、ゲーム、歌など面白い学習素材です。自分で楽しめる方法を探して勉強しましょう。

・よくいっしょに使われる語や反対の意味の語など、語と語を関係づけながら勉強するといいです。

・語の意味の自分の母語と日本語の違いに気がつけたほうがいいです。

・日本語には、中国語、韓国語、ベトナム語、英語などと同じ語源の単語がたくさんあります。同じ意味・用法を持っていることが多いです。ただ、異なっている場合もたくさんあります。違いの有無などを相手に確認しながら、自分の母語と対応する日本語を使ってみるといいです。

・よくある複合語のバタンや漢字の組み合わせに気がつけたほうがいいです。

・一つの漢字を見て、音読みと訓読みが思い浮かぶほうがいいです。音読みの漢字語を聞いて、一つ一つの漢字の訓読みが思い浮かぶようになると、自然な日本語に触れる中でたくさんの語が学習できます。その練習にこのサイトが役に立つかもしれません。 <http://www.asahi-net.or.jp/~ik2r-mvr/kanji/kanji1pa.htm>

・知らない単語の少ない簡単な素材で、スピードの速いものを聞けるように練習したり、早く読んだりできるように練習するといいです。

3) 上級 (8K以上) の語彙 http://www.wa.commufa.jp/~tatsum/English%20top_Tatsu.html

・本当にたまにしか出てこない単語が多くなります。覚えたい語は覚えられるまで印象に残るような方法で繰り返し学習しましょう。

・よい学習方法は中級までと似ていますが、目標に応じて、自分にあった方法を探してください。